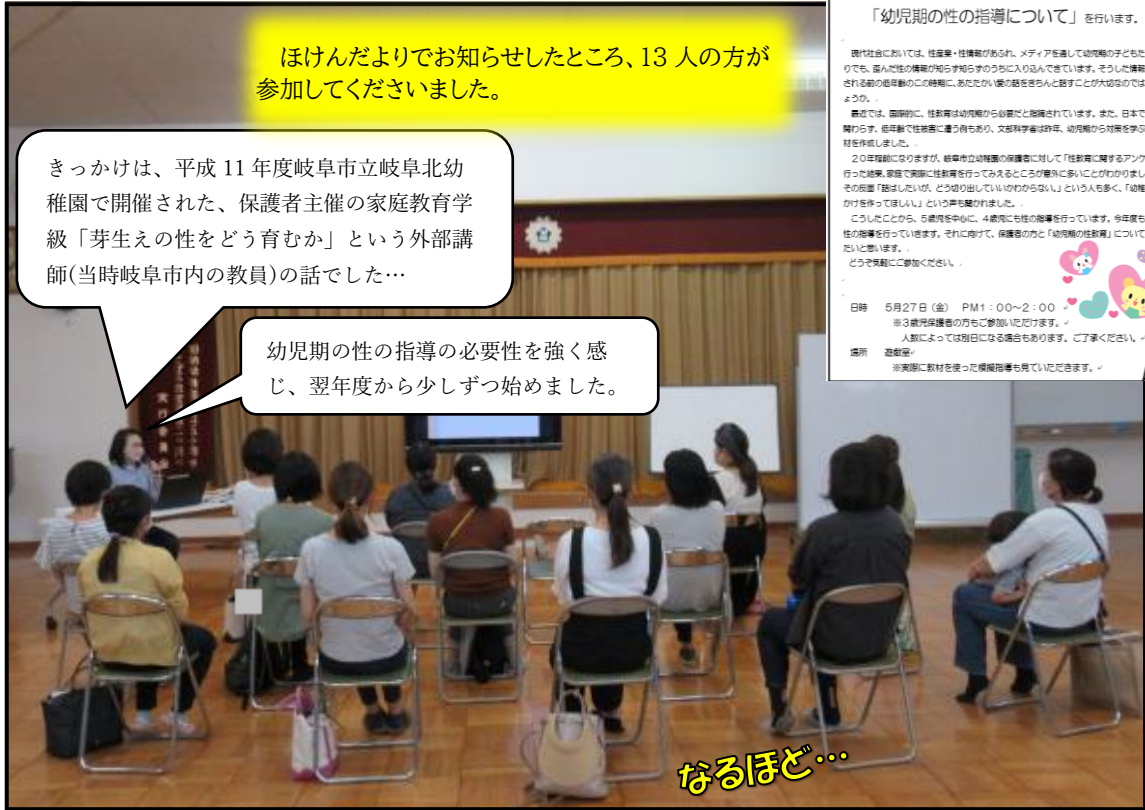


養護教諭から子どもたちと保護者へ ～心身共に健康に育てほしいと願う保健指導～

第3話

「保護者ほけん座談会～幼児期の性の指導について～」 R4.5月



ほけんだよりでお知らせしたところ、13人の方が参加してくださいました。

きっかけは、平成11年度岐阜市立岐阜北幼稚園で開催された、保護者主催の家庭教育学級「芽生えの性をどう育むか」という外部講師(当時岐阜市内の教員)の話でした…

幼児期の性の指導の必要性を強く感じ、翌年度から少しずつ始めました。

なるほど…

保護者ほけん座談会
「幼児期の性の指導について」を行います。

現代社会においては、性差別・性偏見が根柢に、メディアを通して幼児期の子どものまわりでも、固んだ性の偏見が知らず知らずのうちに入込んできています。そうした偏見に振りまわられる前の幼児期のこの時期に、あたたかい愛の話をきちんと話すことが大切なのではないでしょうか。

最近では、国家的に、性教育は幼児期から必要だと指摘されています。また、日本でも性別に関わらず、年齢で性差を認める向きもあり、文部科学省は昨年、幼児期から対象を学ぶための教材を作成しました。

20年程前にありますが、岐阜市立幼稚園の保護者に対して「性教育に関するアンケート」を行った結果、家庭で実際に性教育を行っているところの割合に多いことがわかりました。でも、その内容「話さない方がいいからしない」という声も多く、「幼稚園でしっかり教えてほしい」という声も聞かれました。

こうしたことから、本年度を中心に、4園にも性の指導を行っています。今年度も月ごらの性の指導を行います。それに向けて、保護者の声と「幼児期の性教育」について話し合いたいと思います。

どうぞお気軽に参加ください。

日時 5月27日(金) PM1:00~2:00
※3歳児保護者の方もご参加いただけます。
※人数によっては別日になる場合もあります。ご了承ください。
場所 遊戯室
※実際に教材を使った模擬指導も見ていただけます。

幼児期に知らせたいこと

- からだのはなし
自分の体は自分だけの大切なもの
- いのちについて
自分のルーツ
いのちの重み、いのちの大切さ
- ジェンダー・フリー
男女の違いは性器の違いだけ
自分らしさが大切



とも言い切れない

じ〜ん…

自分で頑張って生まれてきたんだよ！

もう出ていい？って、おなかから、合図を送ったんだよ！

そうなんだ！

実際の指導(パネルシアター)を行いました。

(笑)

(笑) 5歳児になって、聞いてね！

今回もとても興味深く話を聞かせて頂きました。昨年も参加しましたが、だんだん日常でも、性についての大切さを忘れてしまっていたので、子どもたちにはもちろん、夫とも改めて話したいと思います。1年間の性の取り組みを前もって親が知ることで、家庭でも話を広げられることはいいなと感じます。学んだ日の後、子どもたちがどんな風に話してくれるかが楽しみです。幼児期から学べる環境、親にきっかけをくださる場があること、ありがたく感じます。



保護者 A

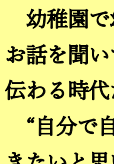
参加された保護者の方の感想です。ありがとうございました。子どもたちにとって、おうちの人の言葉で聞くことが、何よりうれしく、自己肯定感につながると思います。



保護者 B

裸で走り回る子供に“恥ずかしいから”と服を着るように促す。「あー私も言ってます。」心の中で反省しました。“大事だから”に全部置き換えます。家に帰り、早速「大事なところだからね。」と伝えました。

中学校で、性犯罪に遭った時に使用するアフタービルについても、話があるようです。昔と違い、性教育が行われていることに感謝と共に、子どもが言いにくいことでも話してくれるような親子間の信頼関係を幼少期から築いていくことがとても大事だなと感じます。



保護者 C

幼稚園で幼児期の性の指導が行われると知って、驚きました。ですが、今回参加をして、実際にお話を聞いて勉強になりました。お話の中にもあったように、いろいろな情報が簡単に子どもにも伝わる時代だからこそ、親子でしっかりと向き合っていくことが大切だと思いました。

“自分で自分を守る”“まわりの人を大切に思う子ども”になってくれるように、子どもと接していきたいと思います。

ごく自然に、かつ、科学的に自分の誕生を嬉しそうに聞いてくれます。



保護者 D

年の離れた姉がおり、我が家は小さいうちから“性教育”とまではいかないかも知れませんが、“プライベートゾーン”等、お風呂のタイミングで話しています。子どもが今朝「お母さんのおなか、狭かったよ!」と言い出したので、ちょうどいい機会になるなと思いました。まちがった知識や情報に流されず、大切なことは、しっかり親も恥ずかしながら伝えていく必要があると改めて実感しました。「自分の体を大切にできると、相手やまわりの人のことも大切にできる。」その通りだと思います。先生のご家族のように、自分の体の変化を、大人になる一歩として成長を喜び合える関係性はとても素敵だと思いました。親の言葉かけ次第ですね。気を付けて意識していきたいです。



我が子には、歪んだ情報を取り込む前の幼児期に、正しい性の情報に触れることで、自分を守り、自分を大切にできる気持ち、ひいては他者を尊重する気持ちを育ててほしいなと思います。

そのために幼稚園で段階的に繰り返し性的なお話をしてくださることはとてもありがたく感じます。家庭では、正直なところなかなか話しにくいところがありましたが、「古澤先生からどんなお話を聞いたの?」等と聞きながら、私なりに子どもたちと話をしてみたいと思います。



保護者 E

※皆さん素敵な感想をありがとうございました。紙面の都合上、全員の方の文章が紹介できないことをご了承ください。